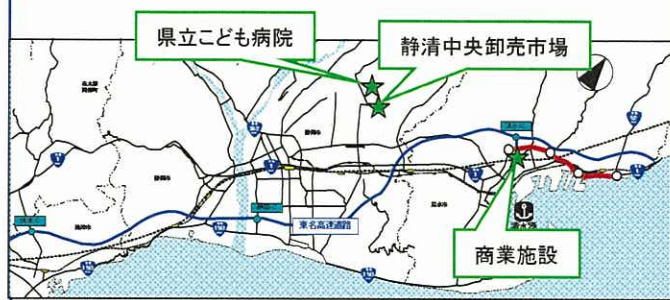


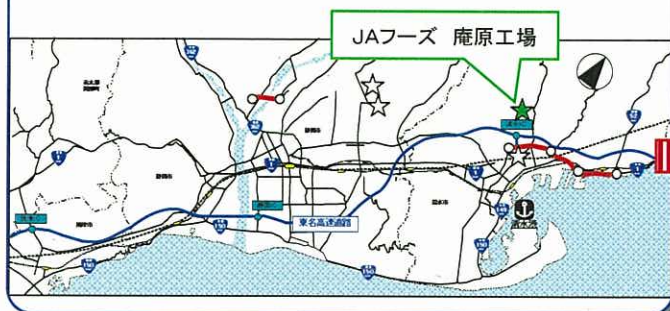
静清バイパスの数回にわたる暫定供用によって、沿線には病院や店舗等が立地してきました。これにより、以前は国道1号現道沿線に広がっていた市街地の広がりを北側へ誘導し、静清バイパス沿線の利便性が向上しました。

★：静清バイパス沿線に立地

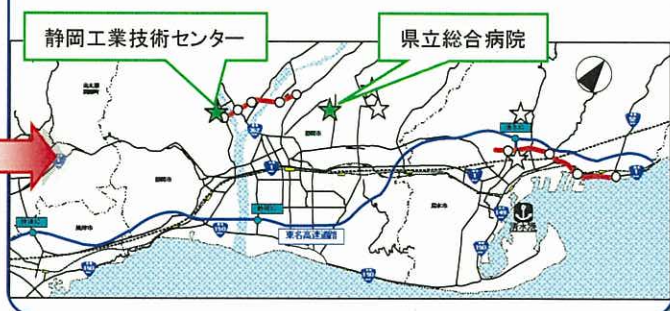
## ①昭和50年ごろ



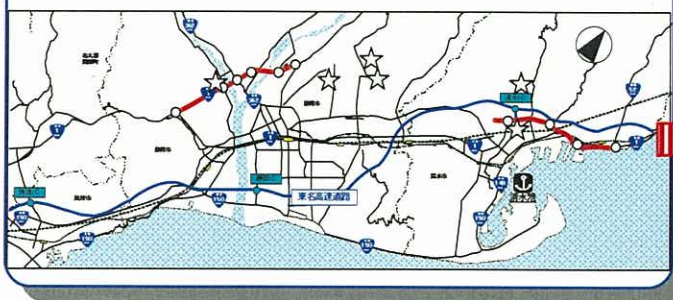
## ②昭和55年ごろ



## ③昭和60年ごろ



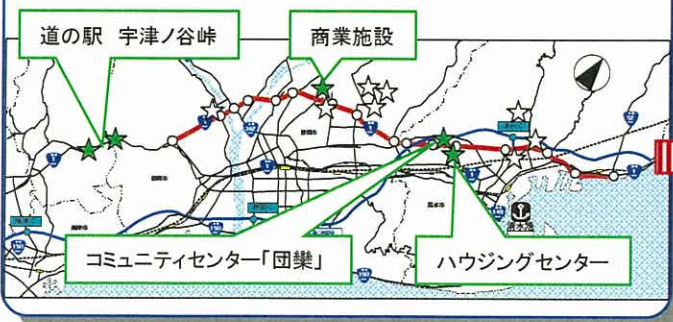
## ④昭和63年ごろ



## ⑤平成2年ごろ



## ⑦平成9年ごろ



## ⑧平成17年ごろ





# 5 静清バイパス沿線利用状況の変化（航空写真で見える変化）

## 航空写真による静清バイパス沿線の変化

③唐瀬IC(西から望む)



④唐瀬IC(東から望む)



②昭府地区(西から望む)



①丸子IC(西から望む)



⑤鳥坂IC(西から望む)



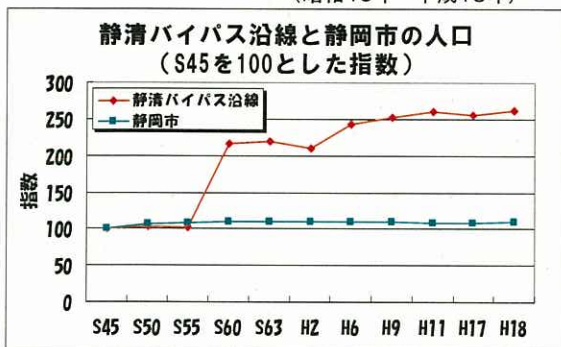


昭和45年を基準とした人口の伸び率の変化では、静岡市平均に大きな変化は見られない中で、**静清バイパス沿線の人口は昭和55年から昭和60年にかけて大きく伸びています。**

昭和48年を基準とした地価の伸び率の変化も同様に、**昭和55年から昭和60年にかけて静清バイパス沿線の地価が静岡市平均より高くなり、**その後は静岡市平均と同じ傾向で推移しています。

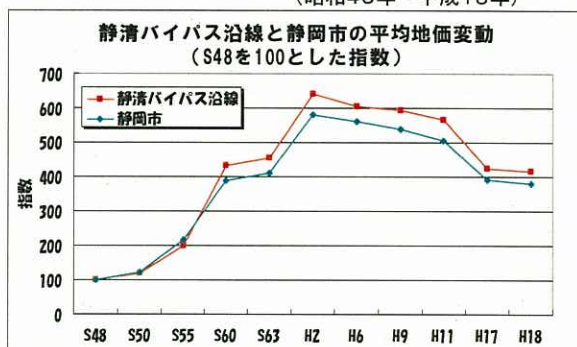
人口の変化

※資料：静岡市統計資料【旧清水市を含む】  
(昭和45年～平成18年)

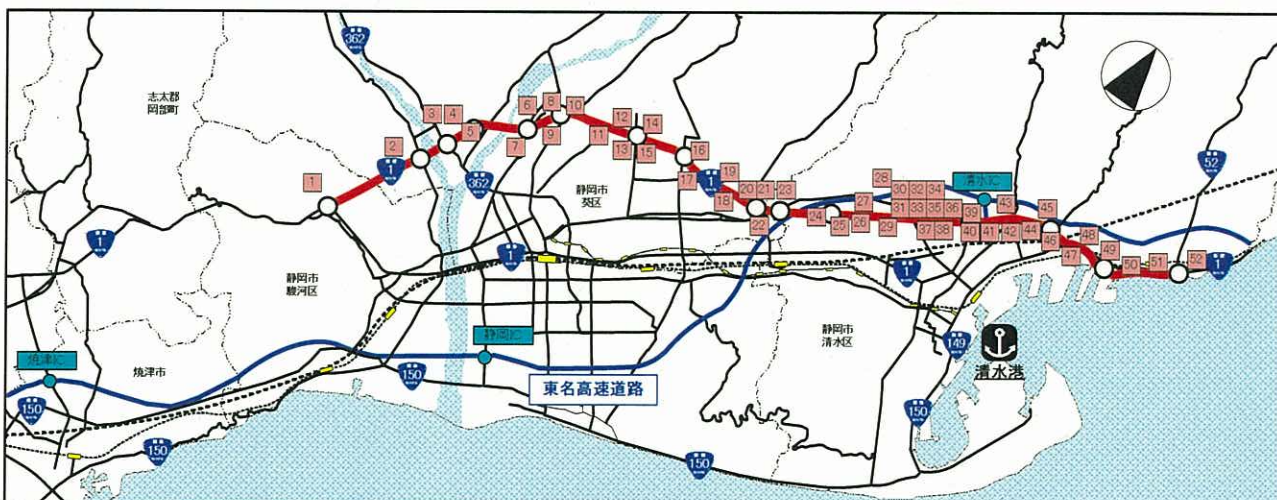


地価の変化

※資料：静岡市統計資料【旧清水市を含む】  
(昭和45年～平成18年)



静清バイパス沿線として抽出した町



静清バイパス沿線町名

1	丸子	11	大岩	21	東瀬名町	31	天王西	41	八坂東	51	興津中町
2	牧ヶ谷	12	池ヶ谷東	22	瀬名川	32	天王東	42	西久保	52	興津東町
3	羽鳥	13	北安東	23	鳥坂	33	弥生町	43	庵原町		
4	建穂	14	岳美	24	長崎	34	北脇新田	44	袖師町		
5	千代	15	城北	25	長崎新田	35	下野緑町	45	尾羽		
6	桜町	16	上土新田	26	堀込	36	下野東	46	横砂		
7	美川町	17	上土	27	大内新田	37	高橋	47	横砂本町		
8	新伝馬	18	川合	28	押切	38	飯田町	48	横砂東町		
9	平和	19	南沼上	29	能島	39	八坂北	49	興津清見寺町		
10	昭府	20	瀬名中央	30	天王町	40	八坂西町	50	興津本町		